

蘭州近況その54 (2017年4月)



キャンパス将軍院の杏



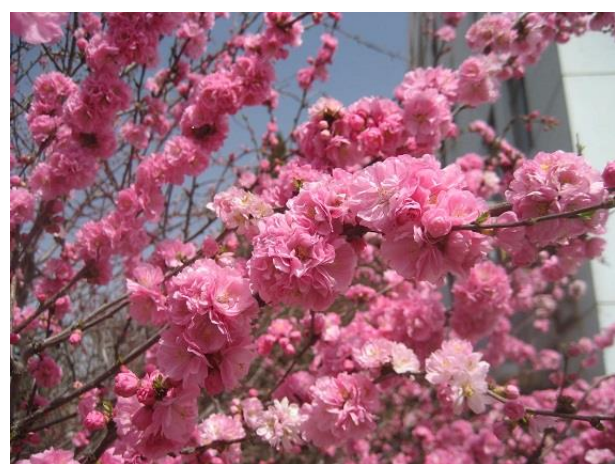
楡中の田園の杏

4月の花々

あっという間に4月が終わりました。3月の下旬には迎春花が咲き、杏の蕾が膨らみましたが、4月の初旬に満開となりました。それから、スモモ、桃、梨が咲き、次にライラックへと続けました。そして、現在は黄バラが咲いています。また今週に入って、いよいよ牡丹が咲き始めました。例年と同じように今年も順序通りにきちんと開花が続きます。ただ、去年の写真と比べると、1週間ほど開花が遅れています。この冬が寒かったせいでしょうか。



宿舎の玄関前の桃



八重咲の桃 (オヒョウモモ)



キャンパス・バドミントンコート of 梨



果樹園 of リンゴ

楡中の果樹園

キャンパスの外へ出てみますと、杏、りんご、梨が目立ちます。キャンパスの周りは農村とその畑で囲まれています。畑には蘭州高原野菜と称して、白菜、キャベツ、ブロッコリーなどが植えられますが、この時期はまだ茶色い大地が広がります。農家の庭を囲むように果樹園があります。この辺りの農家では自宅の庭を開放して、「農家楽」と称して農家飯を提供します。蘭州のマンション族が休日に車で来ては、農家の庭のラウンジ・チェアに終日寝ころんだり、家族でBBQ（バーベキュー）を楽しんだり、仲間とカラオケではしゃいだりして、にぎわいます。4月の中旬には果樹園が梨とリンゴの花で真っ白に輝き、それなりに人を集めていたようです。私もいくつかの農家の果樹園をめぐって、楽しませてもらいました。



キャンパス学生路 of ライラック



キャンパス南 of 庭園のライラック

洛陽へ牡丹を求めて

キャンパスの将軍院と図書館の後ろに牡丹と芍薬が植えられており、例年楽しませてくれます。中国では牡丹といえば洛陽が有名です。歴史に磨かれた洛陽の牡丹はどんなにすばらしいだろうと憧れていました。今年の労働節は4月29日から5月1日までの連休になりました。幸い火曜日と水曜日も授業があり



洛陽・王城公園の芍薬



洛陽国際牡丹園の芍薬

ません。思い切って洛陽へ牡丹を鑑賞しに行くことにしました。ネットで調べると、洛陽の牡丹祭りは4月の1日から8日までが早開期、4月の9日から25日までが盛花期、26日から5月5日まで敗落期とありました。残念ながらどうも少しの差で盛りを過ぎているようです。しかし、めったにないチャンスなので洛陽へ行ってみることにしました。遅咲きの牡丹はまだ咲いているのでしょうか。

今回は30日に蘭州を発ち、河南省の鄭州まで飛行機で飛び、鄭州から長距離バスで洛陽へ向かいました。飛行機は2時間、バスは3時間かかりました。洛陽へは2014年の冬に龍門石窟へ大仏を見に行っています。

翌日1日にさっそく牡丹見物を始めました。洛陽には大きな牡丹園が9つあり、まず市内の中心にある王城公園に行きました。広い園内には800種11万株の牡丹があるそうです。しかし、園内に入って驚きました。咲いている牡丹は1株もありませんでした。牡丹の株は確かに何万本とありましたが、どの株も全て花弁がありませんでした。午後は北の郊外にある洛陽国際牡丹園に行きました。ここは25万平米の敷地に700種の牡丹と300種の芍薬が60万株あるそうですが、牡丹は一株も見られません。牡丹より開花の遅い芍薬がわずかに咲いていました。翌日は洛河を渡って洛陽で最大の隋唐城遺址植物園へ行きました。

ここはおよそ 200 万平米の敷地に 1200 種 27 万株の牡丹があるそうですが、芍薬はたくさん咲いていましたが、牡丹はやはり 1 株もありませんでした。午後は北に戻って、33 万平米の敷地に 200 種の牡丹が数十万株ある洛陽国家牡丹園に行きましたが、同じ状況でした。たくさんの牡丹園があるのに、どれ一つとして牡丹が残されていませんでした。

それにしても洛陽にたくさんの牡丹園があり、牡丹が何万株と植えられているのに驚きました。4 月の中旬に洛陽に来ればなんとも贅沢な情景を目にできたでしょう。次の機会にはぜひ 4 月中に来てみたいものです。



隋唐城遺址植物園の芍薬



洛陽国家牡丹園の芍薬

以上